

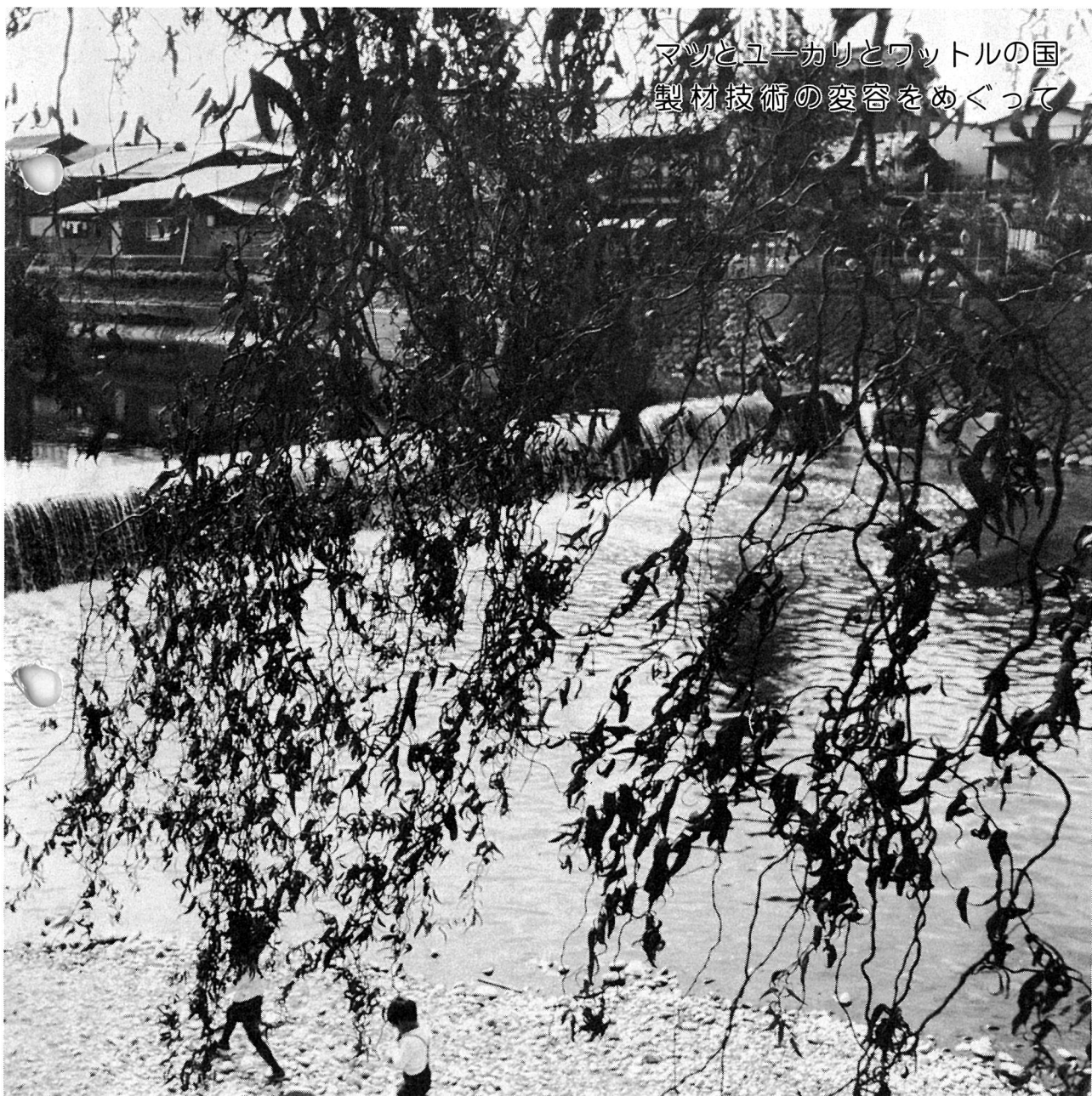


木材の研究と普及

監修 北海道立林産試験場

# ウツデイエイジ

マツとユーカリとワットルの国  
製材技術の変容をめぐって



第34巻 / 通巻395号

社団法人 北海道林産技術普及協会

1986

# 7

# ウッドイエイジ

木材の研究と普及  
第34巻・通巻 395号

## 目 次

---

マツとユーカリとワットルの国…………… 1 A  
—南アフリカと中国雲南省—

---

製材技術の変容をめぐって…………… 1  
～北海道における製材機械設備の動向に  
みる～ その1 製材機械

押し出し成型法でパーティクルボードを造る… 7  
—蒸気噴射を使って—

腐朽材を顕微鏡で見る……………13

---

広葉樹のロマン みずき…………… 6

内外の話題……………12  
(木製窓の道有実用新案出願中実施契約  
について)

木材価格の動き……………17

今月のダイジェスト……………18

- ・ 林産試験場の昭和61年度試験研究業務の概要
- ・ 造林カラマツは高樹齢大径材にした方が使いやすくなる
- ・ 木製断熱窓に要求される性能

---

またたび (外材に対抗する) ……………19

行政の窓 (木質資源ヘラブ・コール) ……………20

林産試ニュース……………21

### 表 紙 の 言 葉

枝垂れ柳越しに河原と家並み。飛騨高山ならでは  
のワンショット。

デザイン 北海道東海大学 三上 純